

## 階層別選択研修（共同）

研修名	中級【法律・経済分野】	受講者の声		
	ビッグデータを活用した 政策形成 <b>※①はオンラインに変更</b>	政策形成の基本的な考え方からデータ活用まで広範囲に学ぶことができました。データベースサイトなどの紹介もあり、即戦力になる情報が多く大変役立つ内容でした。		
講師	一般社団法人 日本経営協会  ほそかわ しげのり 細川 甚孝	期 間	2日間	
		会 場	①各所属・各団体に指定する場所 ②自治自在開発センター	
		予 定 人 員	県50人・市町村30人	
ねらい	ビッグデータの特徴や活用事例を学び、ビッグデータをはじめとする統計データを活用するために必要な知識・スキルを習得するとともに、自治体における課題解決のためのエビデンスに基づく政策立案（Evidence-Based Policy Making：EBPM）の考え方と手法を学びます。			
対象者	<b>【県】</b> 次のいずれかに該当する職員 ・平成31年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員 ・令和3年4月1日以前に採用された主事・技師・主任級の職員で、令和4年4月1日現在25歳以上の職員 <b>【市町村】</b> 主任級以下の職員			
実施日	① 9月 8日（木）・ 9日（金）（県25人・市町村15人） ② 11月28日（月）・ 29日（火）（県25人・市町村15人）			
手法	① オンライン研修 ② 通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	オープンデータ施策の動向  事例に学ぶRESASなどのビッグデータ利活用術  ビッグデータを活用した政策形成の進め方  中間課題の説明	6	25	・オープンデータとは何か／日本におけるオープンデータ施策 ・官民データ活用基本法及びDX改革関連6法 ・RESASの利活用事例（ニセコ町、かすみがうら市） ・ビッグデータ利活用事例（氷見市、岐阜県等） ・実際に自分たちのまちを調べてみよう ・政策形成の基礎 ・データを中心とした政策形成の進め方 ・EBPMの基礎理論 ・効果的な情報収集の進め方 ・問題構造の把握と課題設定、課題構造 ・仮説の組み立てと成果の予測
	グループ全体での政策立案  グループ発表及び講師講評  講義の振り返り等	6	25	・課題ツリー・仮説ツリーを中心としたグループ全体での政策立案 0 05 質疑応答、アンケート記入等
2日 9:00 ～ 16:30				
備考	・県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO. 107～108） ・全2回実施 ・中間課題（1日目終了後）があります。 ・お手持ちのスマートフォンによるデータ検索や閲覧は行いますが、パソコンを用いたデータ分析は行いません。 ・県職員：人事委員会事務局が実施する主査級昇任試験の受験要件となる選択研修です。県職員のみ研修効果確認レポートがあります。			